

令和4年度自己評価書

令和5年3月24日

真庭市立湯原こども園

園長 川崎美名子 印

1. 湯原こども園の教育保育目標

○人としての基礎が作られる重要な時期である乳幼児が、健康・安全で情緒の安定した生活ができるように、保護者、家庭、地域と連携を図り協力し合うことにより、心身ともに健やかに育つ保育・教育を目指す。

「人や物、自然とのつながりの中で、心身ともにたくましく心豊かに育つ子どもの育成」

○よく見て、よく聞いて、よく考えて行動する子どもをめざして

2. 本年度の重点目標

◎のびのびと元気に遊ぶ子どもに

- ・年齢や発達に応じた生活習慣の自立
- ・友だちと一緒に楽しく遊ぶ子どもの育成（健康な心とからだ）

◎自分で考えて行動する子どもに

- ・興味や関心をもったことに主体的に取り組む
- ・園生活において遊びや活動に見通しをもって取り組む。
- ・目的をもって試行錯誤しながら最後までやり遂げる
- ・自分の考えを相手に伝えたり、友だちや保育士の話を聞いたりする

◎友だちとともに育ち合う子どもに

- ・人や物、自然と関わりながら、友だちと一緒にいろいろな体験をする

◎職員が共通理解を深め、園児がのびのびと生活できるように安心安全な環境作りを行う

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価
教育課程・指導計画	教育課程・教育目標を遊びや生活に位置づけて計画の立案、実践が概ね達成できた。	3
行事	コロナ禍で変更となった行事もあるが、工夫や保護者の協力の下、概ね実施できた。	3
組織・運営	職員間で共通理解し、徐々に連携を図ることができた。行事の計画については職員間の連携、計画性に課題もある。	3
学級経営	子ども理解に努め、一人一人の子どもに応じたかかわりや支援を行った。	3
特別支援教育	支援の必要な家庭については各種専門機関と連携を取り、園で出来る対応を行っている。	3
安全管理・保健指導	園舎内外の安全管理を行い、事故や大きな怪我もなく、安全教育に関しては目標を達成することができた。また、計画的に安全教育を行った。	3
研修（資質向上）	園内研修計画に基づき子ども達の望ましい育ちにつながる研修が出来た。	3
情報提供・保護者・地域との連携	各種便り、連絡帳、掲示板、ホワイトボード等を使って分かりやすく園の様子を伝える工夫を行った。今後はHPでの発信の仕方も工夫したい。	3
小学校との接続・連携	計画した小学校との交流活動は行っているが、子どもの育ちを共有し、保育教育過程の接続は出来ていない点が課題である。	3
子育て支援	保健師等、専門機関と連携し、保護者からの連絡に対して素早く適切な対応をした。	3
食育の推進（給食）	残菜が非常に少なく、給食を楽しみにしている子どもが多い。クッキングの回数が減っているので次年度は楽しい食育活動を増やしていきたい。	3
食事の提供（調理）	衛生管理・安全管理を徹底し、各種マニュアルに沿って調理を行い、安心安全な給食を提供した。	4

4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価
よく見て、よく聞いて、よく考えて行動する子どもの育成	保育者自身が意識し、取り組むことによって子ども達の変容が見られた。	3
楽しく保育実践する	楽しくやりがいのある職場であるために良好な人間関係に努めた。	3

5. 本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

「よく見て、よく聞いて、よく考えて行動する子どもの育成」を重点目標としている。年度初め、保育・教育目標、保育方針について全職員で話し合い、共通理解したことにより、重点目標を常に意識し、保育実践を行うことができたと感じている職員が多い。

環境については、学期ごとに園内外の環境について職員間で話し合いを行い、再構成しながら運営・学級経営したことにより、子ども達が自己発揮できる場を作ることができたと考える。しかし、散歩や散策など園外活動が不十分であったクラスもあった。

保護者アンケート結果から、子ども達が家庭において園での出来事を話す姿が増えたことで、保護者の大半が園生活全体を通して子ども達が楽しく過ごしていると感じていることが分かった。また、ホワイトボードや連絡帳による情報提供については高評価をいただいた。このことから、保護者との連携については、子ども・保護者の思いに寄り添いながら、信頼関係を築くよう努めたことが、安心感に繋がったと考える。

職員全員が連携を図りながら、子ども理解に努め寄り添うことで、子ども達が安心して自分の思いを表現し、自己発揮する姿が見られるようになったと考える。また、子ども達が「楽しい」「やりたい」という経験を重ねていくことにより、自信をもち、根気よく活動に取り組む姿に繋がったと考える。

6. 評価結果を受けての具体的改善方策等

- ・行事についての計画は、保護者の意見も取り入れながら検討する。実施内容については、職員間で連携を取りながら早めに検討したい。
- ・今年度はメディアコントロールチャレンジを実施し、家庭と協力して取り組んだ。保護者の方の意見・気づきからも意識改革に繋がっているなので、今後も引き続き家庭と協力して取り組みたい。
- ・園外活動の計画が少ないクラスがあったので、恵まれた自然環境を生かし、子ども達の感性や五感を磨くことができるように、身近な自然に触れる機会を多く取り入れた保育実践を行うようにしたい。
- ・園やクラスの様子などお便りやホワイトボードで分かりやすい内容で伝えるようにしたが、一部の保護者の方には、分かりにくいようなので、より一層の工夫・改善を行う。
- ・地域の方と交流し、故郷の良さや温かさが感じられるような体験活動ができるように計画していきたい。

園評価基準

評価	基準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である